

引揚、賣却處分

0127

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

軍務局

十二月十九日

艦政局

海軍

第一課

第二課

第三課

大正五年十二月十九日

横須賀海軍工廠長田中盛香

海軍大臣加藤友三郎殿

廢船舟賣却處分済報告

船名	種	隻数	予定價格	賣却代價	買受人住所	職名	氏名
傳馬	船	1	5000	5000	東京市浅草区西馬越町三番地	高島	遠山四郎
...	...	...	...	...	...	...	...

第一課

終

課長

課長

課員

5.12.21

1226 0128 12.26 846



起案罪紙

大正六年一月二十日起案 起案者 抄印

二月一日發付 發付掛 抄印

小林 發付後起 案者抄印

6.1.20

6.1.20

(主務) 軍務局長 第二課長

大臣 濟

副官 齋

次官 齋 參事官

局員

局員

局員

局員

艦政局長 田

第二課

局員

局員

局員

經理局長 勝

勝

第二課

局員

局員

横鎮經由發布

大正六年二月廿日 大臣

大正五年十二月臨南防第六二五號ホナ守備  
隊保管假稱第二號ラン千棄却處分ノ件認

許ス

官房第一五〇號

軍令	水路	臨建	教育	艦政	司法	經理	醫務	人事	軍務	官房	局部
				一三〇二二二		六一三			官房 一三三	二月一日	受月日 發月日



電務局

一月十七日

艦政局

參謀長 田

參謀 田

田

副官

宣統六年一月十六日 官房受

6.1.18

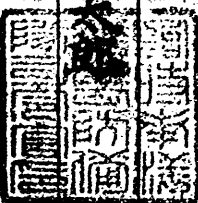
二月十日

軍務局長受

臨海防第六二五號

大正五年一月十七日

海軍大臣 加藤建武 郎殿



日進

因獲ラニテ後送不能ノ件

一、ホナヘ守備隊保管鹵獲ラニテ(仮称第三號) 壹隻

右者本年五月三十日横須賀鎮守府ニ後送ノ命ヲ受テ候處火

艇ノ為ニ適當ニ輸送船無ク種々方法ヲ講シタルモ今日迄後送ノ

便艱無ク同艇ノ老朽モニテ現在ニ於テ船体全部ニ亘リ腐蝕ニ

致テ所ニ大破損ヲ生シ修理ヲ加フルモ到底使用自見込無之者就テ

此際棄却處分スルニ適當ト認候條御認許相成度

右申上ス

官房第一〇〇號

海軍

12 0132 31

起案郵紙

大正六年二月七日 起案

起案者 徐印

二月十九日 發付

發付掛 徐印

發付掛 徐印

發付掛 徐印

(三務)

第三課長

大臣 濟

次官

參事官

副官

大為

局員

艦政局長

中野

經理局長

勝

大正六年二月十九日

大臣

横鎮第一七五號 横須賀海軍港務部保管公稱第一。八號機働艇外一隻廢船處分件認許ス

官房第三八二號

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	艦政	司法	經理	醫務	人事	軍務	官房	局部
						テ		六二六				二月十九日	二月十九日
						一六						二月十九日	二月十九日

政權 2.12

2.12

2.12

0133 2.13





軍務局

艦政局

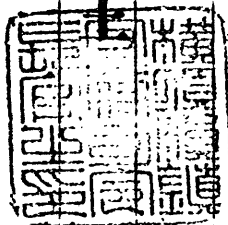
横鎮第一七五號

大正六年二月六日

横須賀鎮守府司令長官 依仁親王

第二課

海軍大臣加藤友三郎殿



横須賀海軍港務部保管左記機

機働艇廢船處分ノ件  
横須賀海軍港務部保管左記機  
働艇ハ共ニ機関部ニ相當修理

ヲ加フルルハ今後約九ヶ月位使用  
シ得ヘキ見込ニナルモ船体一般ニ

老朽甚シク使用ニ堪ユサル程度

此ノ際廢船處分致度

官房第一七五號

官房 第一七五號

0135

右候  
奈御認許相成度

上申ス

公称茅二〇八号

公称茅二二五号

檄傷殿

檄傷殿

只  
二  
月  
置  
込

経

封  
宣

0136



子如

夢

官房第三四〇號

大正六年二月三日

海軍大臣

横須賀鎮守府司令長官宛

鹵獲艇賣却處分ノ件

客年十一月横鎮第九七九號ノ一三三其府参

謀長通報ニ係ル鹵獲「カッター」四隻ノ賣却

處分ニ付セシム

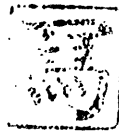
布訓令ス

終

(坂田納)

海軍

0137



横領第九十九號ノ一三三 官房第六十九號ノ一

大正五年十月十日

本村横領候領守府考謀長

鈴木海軍次官殿

後送函獲艇ニ関スル件

官房第六十九号申越お上へ守備隊後送

函獲艇中カタター四隻ノ現状別紙ノ通り

右通報ス

別紙一添

終  
田納

海軍

0138

戦利品獲艇現狀調

品名寸 度現 状 評價格 記事

カツタ

長 三呎 〇吋  
中 六呎 二吋 一般老朽使用見七  
深 二呎 四吋 以上  
〃 三呎 六吋 一般老朽船底腐  
〃 六呎 〇吋 船破損箇所多  
〃 三呎 三吋 修理見七

同

〃 二呎 〇吋 一般老朽殊ニ船底  
〃 六呎 二吋 腐蝕甚敷修理價  
〃 二呎 四吋 植上

同

〃 二呎 二吋 外板中央部ヲ除キ  
〃 六呎 二吋 外板老朽ニ尚外板  
〃 二呎 四吋 部破損使用見七

同

〃 二呎 二吋 外板中央部ヲ除キ  
〃 六呎 二吋 外板老朽ニ尚外板  
〃 二呎 四吋 部破損使用見七

海軍

0139



三月十五日

艦政局

軍務局

子 吉

六六八

參謀長 田

參謀

副官

經理部長

澄

廣

文

課

買

大正六年三月十三日

横須賀海軍工廠長 田中盛

海軍大臣 加藤友三郎 殿

船隻賣却処分報告

第三課	傳馬	船	老	七	東京市神田区 原下町三丁目	古	國松喜惣次
第四課	運	船	老	七	東京市神田区 原下町三丁目	古	國松喜惣次
第五課	運	船	老	七	東京市神田区 原下町三丁目	古	國松喜惣次

海軍

大正六年三月十四日

6.3.16

0140

五  
五

主

經理局

海軍局

軍務局

吳工第八八

大正六年三月六日

吳海軍工廠長伊藤乙次

海軍大臣加藤友三郎殿

屏使賣却件

倉庫番頭

三五五機

大正四年三月官房草木

左報告

第二課長

第二課

經理部

第二課

品検査

参謀部

官

三月十五日  
領受

6.3.15

0141

海軍

軍務局

三月六日

供覽濟

軍務局

二月六日

艦政局

經理局

參謀長 永泰

參謀

官

昭和六年二月三日

經理部長

第二課長

局長

局長

局長

大正六年二月二日 横須賀海軍工廠長 田中盛春

第二課長

局長

海軍大臣 加藤友三郎殿

廢船舟賣却處分済報告

船	二課	復	代	買	受	人	住	所	名
大正六年二月二日	廢船	賣却	處分	済	報告	田中	大介		田中 大介

海軍

0142

210



2  
子

横鎮第五〇八號

大正六年三月十六日

横須賀鎮守府司令長官 依仁親

第二課

海軍大臣 加藤友三郎 殿

郵政局

濟

横須賀鎮守府 港務部 保管左記雜

船八隻 船一 艘 甚 及 修理 再

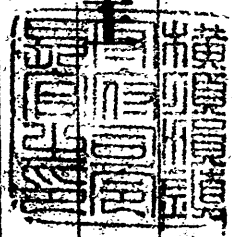
用 船 價 値 等 中 三 隻 廢 船 卜 致 之 候

右 報 出 云 々

大正六年

橫 船

大正六年



6.3.20

官房

0143

局長

局長

局長

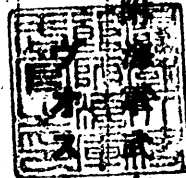


Ha

機密 第一九〇三號

大正六年三月三十一日

露國大使館附  
クレセンスキ大佐



海軍省副官 大角 大佐 殿

大角

拜啓日本海軍に於ては船底を塗る爲めに如何なるパテント、ペント  
を御使用相成候哉伺度尙ほ其價格及ひ賣却方を取扱ふ所を御照會相

成度此段御願申候 敬具

艦政局別

海軍省  
艦政局  
別紙

0145

機密第一九〇二號

大正六年三月三十一日

露國大使館附海軍武官

ウオスクリセンスキー大佐

海軍省副官 大角 大佐 殿

拜啓目下香港に碇泊中の露國軍艦ペンガ「Pechengga」號は浦沙に  
歸港の預定に有之候處汽罐の修理必要に付右汽罐の修理を日本海軍  
工廠に依頼致度候間御取調の上御回答相成度此段及御依頼候 敬具

艦政局 技術本部

別 別

海軍省

0146

秘

供

録

軍務局

海軍

露武官来談要領

大南

大正六年三月二十九日

日下香港之在泊セル露船「ベチヤンカ」(元姉川  
汽船) 大修理同地ニ於テ困難ナルヲ以テ日本  
引キ返サントス。三菱川崎等ニモ一應交  
渉スヘキモ結局日本海軍ノ手ヲ煩スノ外ナカル  
ヘシト思考ス。尚都合豫メ伺置度云々

第一課

第一課

第一課

第一課

海軍

海軍

海軍

海軍

海軍

0147

三三九

寫

海軍

大正六年四月 六日 曹長

大正六年四月六日

海軍省 副官 大角 岑 生

露國大使館附武官ヴオスタレセンスキー大佐殿

露國軍艦「ベチエンガ」艦修理ニ關スル件

三月三十一日付機密第一九〇二號御照會ノ本件ハ先所要材料調査ノ  
必要有之候條修理ヲ要スル個所及其ノ程度ノ大要御通知相成度  
右照會ス

終

官房機密第六〇三號

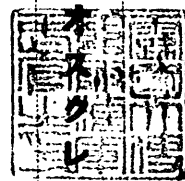
(友田)

0148

機密第一九一〇號

大正六年四月九日

露國大使館附海軍武官ウ



センスキー大佐

海軍省副官 大角 大佐 殿

露國軍艦ベチエンガ號修理に關する件

拜復官房機密第六〇三號を以て御照會相成候修理の個所及び程度の  
必要の點に關しては追而解り次第委細申上べく候得共罐の管の數、外  
徑、厚、長に就ては左記の通り御承知願度此段不取敢及御回答候 敬具

管の數（ペリヴェル式鋼管） 四千八百

外徑 四吋半

厚サ 〇、一九二吋

長サ 七呎七吋

カ

（終）

III

0149

機密第一九一三號

大正六年四月十三日

露國大使館附武官

海軍省副官 大角大佐 殿

ペチンガ號修理取消之件

大角

ウオオクレセンスキー 大佐

拜啓去る三月三十一日附機密第一九〇二號及び四月九日附第一九一

〇號を以て御照會致候露國軍艦「ペチンガ」號は今般香港にて修理  
すべき旨通知有之候に付該艦修理の件は御見合相成度此段申進候

敬具

海軍省  
軍務局 別

III

0150



吳鎮第三二〇號ノ四

大正六年 三月三十一日

吳鎮守府司令長官 男爵 加藤 定

第二課

海軍大臣 加藤友三郎 殿

膠州還納カッター廢船處分ノ件

吳海軍艦務部保位官中ノ膠州還納カッター

一隻ノ海軍艦務部式ニ適合サルモノニシテ將來使用

ノ見込ニ付テ修理費ヲ概算スル價值ナキモノト認候

ニ付今回報 船處分致候

右報告

吳鎮守府司令官印

6.4. 四船

6.4.16

6.3.2日

0151

海軍

147  
口  
1411  
1111

軍務局

第二課

10:00  
10:00

軍

大正六年四月十五日午

時時  
分分

局局  
著發

受信者 軍務局第二課長

發信者 南防老謀

電報譯

ヤルト配属ピニホエ工集公称ガ四三八号及  
 四三九号横須賀工廠ニテ検査ノ結果度棄  
 至當ト認メラレタルヲ以テ横須賀鎮守府司令  
 長官一認許ヲ得テ横須賀工廠口還納セ  
 ホナハ配属ピニホエニ隻公称ガ第四三六  
 号及四三七号モ次便ニテ横須賀工廠ニ修  
 理ノ為後送ス多ク分還納スルニ至ランサイパン配

(花 時 報)

四月十日

軍務局接受

0152

属汽艇第三八三号及通船第二八一号、今  
便ニ修理ノ為後送セリ、還納艇四隻、代ハ  
當分不要

海軍

(明正印刷納)

0153

艦政局

軍務局

經理局

參謀長

參謀

副官

副官

吳工第八號

大正六年四月十日

第二課

海軍大臣加藤友三郎殿

四月七日進達

海軍大臣加藤友三郎殿

海軍大臣加藤友三郎殿

海軍大臣加藤友三郎殿

海軍大臣加藤友三郎殿

海軍大臣加藤友三郎殿

海軍大臣加藤友三郎殿

海軍大臣加藤友三郎殿

海軍大臣加藤友三郎殿

經理部

第二課長

吳海軍大臣加藤友三郎殿

海軍大臣加藤友三郎殿

記帳簿

6-4-11

6.4.20

0154

4.20

一八八一	一八八〇	一八七九	一八七八	一八七七	一八七六	一八七五	三〇八	二〇八七	二〇八六	二〇八五	二〇八四	二〇八三
全	全	全	全	全	全	橋	備	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
港	港	港	港	港	港	港	港	港	港	港	港	港
五	五	五	五	五	五	五	港	港	港	港	港	港
六	六	六	六	六	六	六	港	港	港	港	港	港
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ	リ

木一〇  
二〇  
三〇  
四〇  
五〇  
六〇  
七〇  
八〇  
九〇  
一〇〇

一八九九	一八九八	一八九七	一八九六	一八九五	一八九四	一八九一	一八九〇	一八八九	一八八五	一八八四	一八八三	一八八二
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
港	港	港	港	港	港	港	港	港	港	港	港	港
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

元りの全 全 老 五 六 全 全  
者將來使用免込等且造船造船材料トテ不適當也  
三付書費却  
カ報告ス

(終)

0157

艦政局

軍務局

經理局

勝

第一課

四月六日

工廠第六號ノ七一

大正六年四月六日

世保海軍工廠長代理

海軍少將岡野富士

海軍大臣加藤嘉三郎殿

雜物賣却件

紅毛船 予定單價賣却件 買受人 職業 賣却 還納 元

汽船 公船第八号 二面 〇〇〇〇一七〇〇 住保市浜町六一番地 大正六年 住保

全三六七号 運賃 第一課 〇〇〇〇一〇〇〇〇 古物商 以下同 以下同

全二五五号 運賃 第一課 〇〇〇〇一〇〇〇〇 以下同

全一五三一号 水 一 〇〇〇〇一七五〇〇

全一五三二号 水 一 〇〇〇〇一七五〇〇

第一課長 計 五 四〇〇〇〇〇四五〇〇

參謀長

副官

日暮

參謀

有

經理部

日暮

四月廿二日

6.4.9

12

0158



右報告ス

洋

頁

終

0159

供野濟

艦

經理局長

軍務局長

普通

庶務造兵造船造機需品會計

大正六年四月十三日

起案

四月十三日

艦政局

中野

第二課長

中野

中野

村越

四月廿三日

官房受

大正六年四月廿三日

長官枝副友宛 海軍省副官

赤部艦、國之御

四月七日自赤部艦七九号の照會ニ答へ赤部艦長ニテ鐵守村信官

赤部艦長ニテ鐵守村信官

勝

右田名合第三課長

局員

赤部艦長

處分シタ工工版

鎮遠

松尾

八摩山

白

赤城

黒

發送大正六年四月廿三日

官房第一〇九號

添付圖書

淨書者

0160

									計七艘
					筑紫	天龍	磐城	摩耶	
					吳	舞鶴	佐世保	横須賀	
				(元)					

海軍

0161

(坂田納)




艦政

經理

經理官書報下り  
香布山康艦名

鎮遠  
八景山  
赤城  
摩耶  
磐城  
天龍  
筑紫  
計七隻

横横横  
吳佐横吳横横  
越分三三三  
三

	艦名 必要	艦名	艦名	艦名	艦名	艦名	軍	政艦 6.4.9 交付
0163		0162		 在/文4月		 9		

海軍

海軍

七九

大正六年四月七日

海軍兵學校副官

海軍省副官殿

讀却席艦名及 御紋章一件

本校大講堂建築費之充ツル為賣却セラレタル席艦名  
及同席艦、御紋章保管應至急知致度必要  
有之云々折返し御回報相煩度  
右照會ス

官房第一〇五號

終

政艦 6.4.9

0163 0162

在 124 9

軍務局

艦政局

佐鎮第一四號ノ四八

大正六年五月八日

佐世保鎮守府司令長官 山下源太

海軍大臣 加藤友三郎殿

第二課

官房第一一六三號ノ二御認許ニ依リ公稱第二八六號曳船ヲ廢船トス

右報告ス

第三課

第四課

第五課

海軍大臣 加藤友三郎殿

6.5.11

6.5.11

6.5.11

軍務局接収

五月十一日

海軍大臣

5.11

0164

海軍

起案鄧紙

大正六年四月十四日起案

起案者 捺印

四月二十日發付

發付掛 捺印

發付後起 捺印

案者捺印

受月日

發月日

(主務) 軍務局長

出

第二課長

京

大臣

辨

副官

次官

鄧

參事官

員

員

員

員

艦政局長

出

經理局長

勝

第二課長

第四課長

第三課長

第二課長

局員

員

村

八

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	艦政	司法	經理	醫務	人事	軍務	官房	局部
						四六八		四四三			官房		受月日
						四二〇					官房		發月日

大正六年四月二十日

大臣

佐鎮第一四號、四〇公稱第二八六號(曳船)廢船處  
分一件認許ス

(終)

號番

官房第一一六三號

一五

三

0165

4.196

416





軍務局

艦政局

佐鎮第一四號ノ四〇

大正六年四月十日

佐世保鎮守府司令長官代理

第二課

海軍少將

山口九十郎

海軍大臣加藤友三郎殿

機便艦廢船處分ノ件

今般當港務部ニ於テ還納船舶ニ編入ノ公稱第二八六號曳船ハ別紙検査報告書  
通老朽甚敷修理ヲ加フルノ價值ナキモノト認メ候ニ付廢船處分致度候條御認  
許相成慶

右上申ス

別紙一葉添

官房第

五三號

海軍

四月十日  
官房受

6月10日

0167

公稱第ニ八六號兵船検査報告

左世仔海軍工廠長山口九十郎

大正六年三月廿日調

現狀摘要		所	見
船殼	全体より腐蝕甚し修理ノ價値ナキモノト認ム		
機軸	永年使用ノ結果今後ノ使用ニ堪ヘサルモノキヲ認ム		
持械	復水器胴、管板及管腐蝕甚し修理ノ價値ナキモノト認ム		
鑄	罐胴(下部)腐蝕甚し大修理ヲ要ス		
補機	小修理ヲ要スモノアリ		
前頭ノ如キ状態ニシテ若シ今後使用セントセバ在記ノ修理費ヲ要ス			
船殼機装		材料費	八、〇〇〇円
		工費	九、〇〇〇円
復水器新造費		材料費	一、六〇〇円
		工費	三、〇〇〇円
缶修理費		材料費	三、〇〇〇円
		工費	九、〇〇〇円
合計			一三、〇〇〇円

海軍

軍務局

艦政局

四月九日

海軍第六號九

大正六年四月四日

海軍大臣加藤敏三郎殿

佐世保海軍港務部長白石直介

第二艘 還納船舟受領ノ件

還納元公稱番號船種 還納理由

佐世保海軍港務部 第三六號 曳船

右報告ス

(別紙艦裝品目録三葉添)

老朽修理ノ加ル價値十千ニ付大正六年三月至自佐鎮第四部三三以テ還納認許

大正六年四月四日

還納受領並還納船舟

參謀長

副官

大正六年四月五日

工月

四月十日

官房 受領事務局 授受

0168

品名	品	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒
	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒
	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒	鐵九棒
數量	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹
備考													

公稱第三六號船機裝品目錄

全附属金物	上甲板天幕棟木	全天幕棟木	全ハドローレスレール	船橋上ハドローレール	船橋天幕柱	アンカーダビット	旗竿	スラチブロック	カウトホールヨール柱	锚カントガイヨール柱
、	、	、	、	、	、	、	、	個	、	体
壹	貳	七	七	貳	四	壹	壹	壹	壹	貳
鉄製	、	木製	、	、	、	鋼製	木製			

0171

梯子	梯子用手摺	天窓覆	鉄 グーテング	罐室部空気入頭部金物	清水 グーテング	グーテング	大便器	操舵鎖	令棒	跡令管口
貳	四	壹	貳	壹	貳	壹	參	貳	貳	貳
	真鍮 パイプ製	木製	鉄製			木製	鉄製			

海軍

消防唧筒機	補助給水機	復水器	主機	罐	竈用石炭庫	竈	前部舷窓	舷輪	被服箱兼腰掛	舷燈台
、	、	、	台	基	、	、	、	、	、	個
壹	壹	壹	壹	壹	壹	壹	八	壹	貳	貳
				附屬品	、	鐵製				木製

0173

					要具棚
				抽気唧筒	名
				送水唧筒	壹
				主給水唧筒	壹
				引込唧筒	壹
					機材室
					主機械ニ連結
					石 石 石

毎

軍

四





手紙

軍務局

艦政局

佐鎮第一四號ノ四五ノ二

大正六年五月二日

佐世保鎮守府司令長官 山下源太郎

海軍大臣 友三

高橋廉船入件

佐世保海軍工廠所屬公稱第一〇九三號傳馬船壹隻老朽修理ヲ加フルノ  
價値ナキニ付五月二日廢船トス

右報告ス 第二課

(終)

原簿濟

海軍

3.21

政艦 6.8.18 受接

軍務局接受

6月十日

8.20

0176

佐世保 本行 廣古坂 海軍

6.8.18  
受接

軍務局接受

八月十日

二 龍 8.20

0176

フルノ

阿部

阿部

軍

桂謙

佐世保鎮守府 大正 六年 八月 十日

本件行違ノ為ノ延引重条ノ故ニ配  
廣末松度

海軍省副官殿

佐世保鎮守府副官

0177

子 考

艦政局

軍務局

佐鎮第一四號ノ四六ノ二

大正六年五月十一日

海軍大臣加藤友三郎殿  
佐世保鎮守府司令長官 山下源太郎

第二課

廢船ノ件

鎮海要港部所屬公稱第一五五號水船壹隻老朽修理ヲ加フルノ價値ナ  
キニ付五月十一日廢船トス

右報告ス

第二課

行類

(終)

原簿濟

海軍

政艦 6.8.18 受接

軍務局接

陸大 陸海

0178

見

軍務局

艦政局

舞鶴第三八號

大正六年六月四日

舞鶴鎮守府司令長官 名和又八郎

海軍大臣 加藤友三郎 殿

第二課

發給處分件

當浦務部、還納、

公船第三、號、將末修理使用價、

直、條、廢船處分、

取扱規、第、條、廢船處分、

右報、出、

六三二二六

終

原簿清

6.6.11 四

6.6.9 受

六月九日

0179

2  
子  
子  
子

艦政局

軍務局

佐鎮第一四號ノ五四ノ二

大正六年六月五日

佐世保鎮守府司令長官 山下源太郎

海軍大臣 加藤友三郎

廢船事件

佐世保海軍港務 屬左記船舟老朽修理ヲ加<sup>○</sup>ノ價值ナキニ付六月

五日廢船トス

右報告ス 第二課

公稱第九〇四號 傳馬船

公稱第七二五號 傳馬船

公稱第七五〇號 傳馬船

公稱第九八〇號 「ダルマ」型運貨船

政艦 6.8.18 受接

軍務局接受

0180

六月十日

原簿済

原簿済

原簿済

原簿済

海軍



軍務局

艦政局

佐鎮第一四號ノ六四ノ二

大正六年六月十三日

海軍大臣加藤友三郎殿  
佐世保鎮守府司令長官 山下源太

旅順要港部所屬公稱第一七二〇號泥受船壹隻及公稱第一五五八號和形水船壹隻老朽修理ヲ加フルノ價值ナキニ付六月十三日廢船トス

右報告ス

第二課

原簿濟

海軍

政艦  
6.8.18  
安接

原簿濟

六月十日

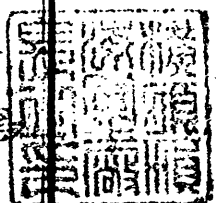
0182

軍務局接受



六月廿二日進達

横廠會第一七號ノ五二二



横鎮受六年六月廿二日

費原受



七月四

軍務局

經理局

勝



大正五年七月七日  
親王横須賀鎮守府夏長官殿  
某親王横須賀鎮守府夏長官殿  
某親王横須賀鎮守府夏長官殿

舊軍艦笠置取除期限延期件

大正五年七月七日  
却處分ニ附テ舊軍艦笠置置本願十二日迄ニ現

場ヨリ引取ルキ契約ノ處本年三月二十二日ヨリ二十五日

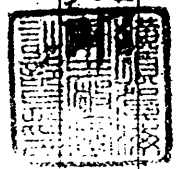
ニ至ル暴風雨ノ為メ排水及解船作業ノ設備ハ悉ク

破壞流シシ艦ノ損害傾斜度ハ舊状ニ倍シ

到底期限内ニ除去シ難キトヨリ以テ讓受人栗本

勇之助ヨリ延期願

艦政事務所



0183

不可抗カニ基因シ事情不得止テニシテ且ツ遭  
難地ハ夏期約三ヶ月間風浪高ク作業困難尤  
ヲ以テ此期間ヲ控除シ六ヶ月即チ大正七年三月  
三日迄延期至當ト認メ許可候旨  
右御届ス

終